

## 令和2年度 ふるさとのづくり支援事業

市町村名	岐阜県瑞浪市	
事業名	農畜産物加工品開発調査事業	
企業等概要	企業等の名称	みずなみアグリ株式会社
	代表者氏名	代表取締役 鷺尾 賢一郎
	所在地	岐阜県瑞浪市土岐町 6059 番地
	連絡先	0572-26-8617
	URL	<a href="https://kinahta.jp/">https://kinahta.jp/</a>

令和4年2月現在

### 【事業者概要】

みずなみアグリ株式会社は、瑞浪市、JA、瑞浪商工会議所、瑞浪市民等の出資により平成22年に設立。平成24年6月に瑞浪市農産物等直売所「きなあた瑞浪」がオープンして以来、指定管理者として直売所の管理運営を行うとともに、農業振興、地産地消の推進を継続して実施している。瑞浪ポーノポークの販売の他、専用圃場を活用した農業関連体験イベントの実施や地元農産物及び加工品の販売・PRを実施している。

### 【事業概要】

#### ◇背景・経緯

当社が運営している「きなあた瑞浪」は、これまで多くの方が行き交い、中山間地域である瑞浪市の経済活動の一翼を担ってきたが、平成31年に発生した豚熱により、市内の肥育農場で約5,700頭が殺処分された。そのような中、令和2年6月に瑞浪市が農業振興及び地域活性化等を目的とした農畜産物加工施設(ハム工房 瑞浪)を直売所敷地内に建設。当事業ではハム工房 瑞浪で、瑞浪市の特産品である瑞浪ポーノポークを活用し、地元農産物も盛り込んだ加工品開発に取り組んだ。

#### ◇開発概要

- ・商品開発にあたり、市場の調査、試作品の製造、パッケージデザインの製作を実施。加工品を開発し、全国へPR・販売していくことで、瑞浪ポーノポークの更なるブランド化の促進、地域農業の振興を図った。
- ・試作品を「きなあた瑞浪」や学校給食で提供し、アンケートを実施。その結果も反映させながら商品開発を進めた。また、店舗での販売だけでなく、全国へと販路を拡大していくためにECサイトを構築。
- ・市が建設したハム工房 瑞浪の総工費は2億7,600万円に上り、ハムやソーセージ等に加工するための機器等備品も完備されている。主要な機器はドイツ製の最新設備を備えている。



《ハム工房瑞浪》

## 【成果】

### ◇地域性・特徴

- ・瑞浪市のブランド豚肉「瑞浪ポーノポーク」のみを使用した加工品で地域ブランドの更なる発展に寄与している。
- ・豚肉の加工品市場は既に大きな規模を誇っているが、原料にブランド豚肉を使用している点、商品開発にあたり、パプリカ・山椒・ニンニク・わさび菜・唐辛子等の地元農産物を盛り込み、その農産物の旬に合わせて期間限定で販売している商品も多数存在している点で差別化を図っている。
- ・旬の地元農産物を盛り込んだ加工商品を販売することで、生産者の反応も1次産品として卸している時とは違った生産者の反応が見られ、生産意欲が向上したとの声もあった。
- ・ポーノポークは霜降り割合が高く、ハム等に加工をするにあたり”しっとり感”がでることも強みである。また、増粘剤は使用せず、添加物も必要最小限の量に留めている。アレルギーにも配慮し、卵白を除くよう工夫されている。



《瑞浪ポーノポーク、地元農産物を使用した商品》



《ハム工房内の直売コーナー》

### ◇商品化・販売先

- ・季節限定商品を含め計 27 種類の商品を開発した。
- ・「ハム工房 瑞浪」のオープンにより、「きなあつ瑞浪」の来場者数が前年度比 116%、約 7 万 4,000 人の増、売上に関しても前年度比 125%、8,700 万円増加するなど、コロナ禍ではあったものの大きな経済効果があった。一方で、ハム工房 瑞浪の初年度売り上げは目標額の 4,500 万円に届かず、2,990 万円だったことから、継続的な PR が必要である。コロナ禍により、展示会などへの出展が中止となり、EC サイトでの売り上げを伸ばせなかったことも影響している

## 【今後の展望】

- ・「ハム工房 瑞浪」のカフェで加工品を使用した軽食を提供したり、市内のイベントにおいてキッチンカーをレンタルし、当該施設のフランクフルトを販売するなど啓発活動にも取り組んでいるが、継続的に PR 活動を実施していくことが重要と考えている。
- ・地元周辺地域への周知はある程度進んできてはいるものの、販路を拡大するためにも全国的な PR を実施していく必要がある。EC サイトでも販売しているが、周知不足により EC サイトでの購入が伸びていないため、今後コロナが収束し、展示会や物産展への出展、百貨店への商談を実施していく予定である。
- ・加工品の詰め合わせギフトの広告を配布するよう準備を進めている。